

祐善寺だより

第51号

発行日

2023年10月10日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170

ご尊前での結婚式を通して

精一杯精進していきます

若院 岡崎 優大

結婚式の際には、ご門徒の皆様には何かとお世話になり、ありがとうございます。おかげさまで無事結婚式を挙げる事ができました。

結婚に際しましては、皆様から祝福や励ましのお言葉をかけて頂き、本当に嬉しかったです。皆様の期待に応えられべく、精一杯精進していきます。ご門徒の皆様にご教養頂きながら二人で力を合わせ、お寺を護っていく所存でございます。未熟な二人ですが、今後ともよろしくお願ひします。

ご門徒さまのおかげで…

若坊守 岡崎 友美

私達の結婚に際し、皆様には大変お世



ご尊前での結婚式を終えて境内で一息!

祐善寺を護って下さる!

坊守 岡崎 芳子

このたび、ご縁を頂き、二人は結婚式を挙げさせていただくことができました。皆様には、大変お世話様になりました。誠にありがとうございます。

私は、この二人に祐善寺をしっかり護って欲しい、と願っています。しかし二人は、まだまだ未熟です。皆様方には、どうかご指導くださいますようお願い申し上げます。

二人で「大輪の花」を咲かせよう

筆頭総代 上野三千男

若院優大さん、友美さん。このたびは、結婚おめでとうでございます。ご両家のご家族やご親戚の皆様にも、心よりお喜び申し上げます。

媒酌人には江戸時代の俊英、橋本左内先生の遠縁にあられる浄明寺日下部ご夫妻にご媒酌の労を取っていただきました。また、今年は、宗祖親鸞聖人ご誕生850年のおめでたい年。振り返ってみますと、私自身、祐善寺様の結婚披露宴に出席させていただいたのも住職と若院、親子二代にわたり、この上ない喜びと40年の月日を感じているところです。

若院は、寺院のお仕事と会社での仕事の両立、何かと苦悶があると思いますが、お二人で手をとり前進ください。高校野球の監督が申しております「人生は敗者復活戦」。どんと構え、くよくよせず、乗り越えてください。

結びに、お二人で「大輪の花」を咲かせてください。

門信徒様と共に！真面目に！

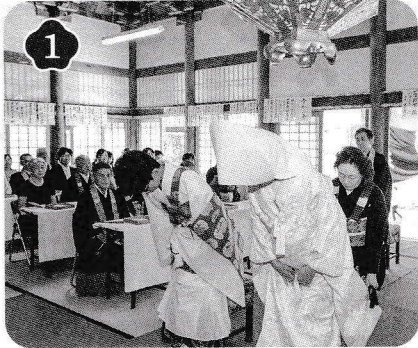
住職 岡崎 賢

若院の花嫁選びは困難をきわめました。が、ご縁に恵まれ、皆々様のご理解とご支援を頂き、祐善寺本堂のご尊前で結婚式を挙げさせて頂きましたことに、父親として、祐善寺住職として、心から深く深く御礼申し上げます。

二人とも晩婚でありながら、社会性も乏しく不器用な二人ですが、「門信徒様と共に、真面目に」精進していくよう教えていただきますので、皆様からも叱咤激励して頂き、祐善寺を盛り上げて頂きますようお願い申し上げます。

このたびは、本当に有り難うございました。

仏前結婚式アラカルト



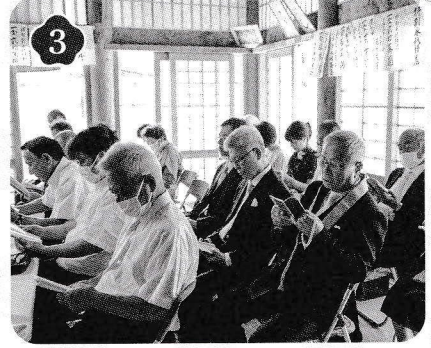
【新郎新婦入堂】

ご尊前に頭礼してご挨拶を行います！



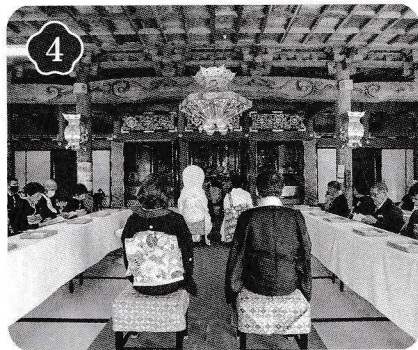
【司婚者表白】

結婚式を取り仕切る司婚者の表白がありました！



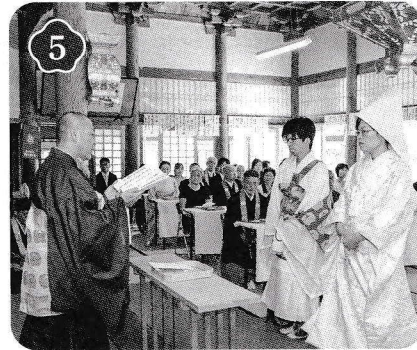
【勤行】

ご門徒さんも一緒に勤行を行いました！



【後部からの結婚式の模様】

ご尊前に向かっての結婚式の様子です！



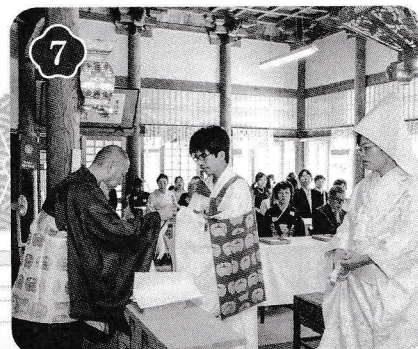
【司婚のことば】

司婚者からご尊前で挙式する意義が述べられています！



【新郎新婦誓いのことば】

司婚のことばを頂き、新郎新婦は「誓いのことば」で表明しました！



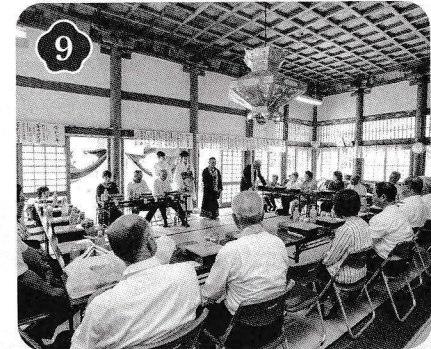
【念珠授与】

司婚者より二人に新しい念珠が授与されました！



【夫婦交杯】

夫婦として三々九度の交杯が交わされました！



【ご門徒への御礼のご挨拶】

参列して頂いたご門徒へ、小宴の前に住職より御礼のご挨拶を申し上げます！

仏像修理からその後(下)

ごつごつあま会代表 田中茂美

2017年6月11日、晴天の日和のもと、肅々と開眼法要を営み、市長・教育長を始め関係各位臨席のもと記念式典を行い、盛大に稚児法要も続きました。170年前の法要も晴天の中で営まれたと記録され、改めて「ごつごつあま」のご利益を感じます。その後滝波町の有志で「ごつごつあま会」を立ち上げました。五智如来を広く沢山の方に知って頂き、拝観に訪れて頂く、訪れた方々を案内する、そんな目的です。SNSを駆使しての情報発信やマスコミでの報道。TV番組に数多く取り上げられ新聞やタウン誌の記事に紹介されています。バス専用と乗用車駐車場管理。周辺環境の整備やお堂裏山のシャガの花群生地の整備。作業活動には必要に応じて地区の方々に声かけしています。

近辺・福井市内の方はもちろん、遠く九州や関東からの拝観者もあり、広範囲で参拝にみえています。大日如来が自分の守り仏だと言つ女性。宝生如来のご利益目当てに来られた親子。一度立ち寄つたら余りに立派だったので二人の子供を連れて再び参拝にこられたお父さん。上越市の五智如来が火事で焼けた時、滝波の五智如来が消火に加勢し、その時ごつごつあまは汗をかいたとの言い伝えがある。その伝説を知って新潟から参拝にみえた方。コロナ禍で思うように集客はきませんが、それでも年毎に参拝者は増えています。新幹線開業も近く、少しづつ知名度を上げ、集客を増やし地域を活性化していきたいものです。

年3回、3月・6月・12月11日午後2時からご祈祷を行います。44本の蝋燭を立て（土くは滝波町44戸あった）小豆飯をお供えし、ご祈祷後、家に持ち帰り家族全員で分けて食し、家内安全・無病息災を願います。

千年の祈り…五智如来は奇跡の仏像

一向一揆で燃えてしまう所を谷に逃れた奇跡!!土の中で朽ちる所を村人達に拾い上げられた奇跡!!平成の大修復で平安の元に戻った奇跡!!
五智如来は幾多の困難に会いながら、今なお平安の穏やかな眼差しで

人々を見守ってくれています。そして、この千年も変わらず同じ眼差しで人々を見守ってくれると思います。

五智如来は普段閉まっていますが、事前連絡頂ければ、どなたでも拝観できます。

連絡先

●住所 福井市滝波町43-18

滝波清流会館

●電話 0776-19815081

新幹線開業後の 京都へのアクセス

福井市 島 正明

福井県民の長年の夢だった北陸新幹線の開業が来年3月16日に決まり、それに合わせた様々な行事も計画されて福井県内ではおおいに盛り上がっているようです。

この新幹線の開業に伴い、福井から東京へは、これまでの米原回りより速くなるようですが、大阪、名古屋へは当分の間、敦賀駅での乗り換えが必要となってきます。浄土真宗の本山のある京都へも、これまではサンダーバード1本で行くことが出来たのが、敦賀までは北陸本線から

第三セクターとなる八ピラインに乗って敦賀まで行くか、新幹線で敦賀まで乗車して敦賀からはサンダーバードに乗り換えざるを得なくなってしまう。

当分の間乗換駅となる敦賀駅は、北陸新幹線とサンダーバード、しらすぎへの乗換の利便性を図るため、新幹線ホームの下に新たにこれらの特急電車の発着ホームを設けたため、八ピラインが発着する現在のホームとはかなり離れてしまうことになってしまいます。敦賀まで八ピラインを利用して、敦賀駅でサンダーバードに乗り換える場合は、このことにより新幹線駅の下の特急専用ホームまで歩かねばなりません。

そこで見直されるのが敦賀駅から1時間間隔で出ている新快速姫路行き（一部はさらに西の播州赤穂行き）ではないかと考えています。サンダーバードと比べると京都まで40分位は余分に時間がかかりますが、八ピラインを利用した場合には敦賀駅での乗換が便利で、特急料金もかからないこの新快速を利用するのも一つの方法ではないかと思えます。

この新快速は、播州赤穂駅までだと営業距離256kmの国内最長区間を走る快速電車、敦賀駅での乗換をどう考えるかによって、これから人氣が出てくるような気がしています。

「年越し元旦参り」ご案内

今年はずっと酷暑！酷暑！であえぎ、各地に豪雨災害をもたらした受難の年でした。

大晦日にお寺で除夜の鐘をつきつづいたの多かったこの一年を振り返り、年明けとともに、すがすがしい気持ちでご本尊に、ご挨拶しましょう！

☆仏事で使用した不用品等を、ご持参下さい！

☆午後十一時過ぎから点火される「かがり火」で焼却しましょう！

★持ち込まれるもの

葬儀等で使用した白木の位牌、古ろうそく、お経本、お祓いを受けたお札、一年のカレンダー 等々
左記の日程で、年越し元旦参りを
お勤めします。ご家族お誘いあわせの上、ご参加下さい。

日程

◆12月31日

- 23:15 集合・かがり火準備
- 23:20 読経・かがり火点火
- 23:30 除夜の鐘撞き始め

◆新年元旦

- 00:00 正信偈お勤め
- 00:20 お勤め終了
「一年の計」表明
- 00:30 解散

おくやみ

松島和子様（越前市芝原）には、令和五年七月二十九日、行年九十三歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。

田中修一様（越前町田中）には、令和五年七月三十一日、行年七十八歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。

野村勝様（越前町小倉）には、令和五年九月十二日、行年八十五歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。

年忌法要を

お勤め下さい

あなたのいのちは、あなただけのものではない。ご先祖様代々からの贈り物！

あなたがいのちを頂いたご先祖様の年忌法要を是非、お勤めしてください！

それは、人としての努めです。

記

- 五十回忌 昭和四十九年没
- 三十三回忌 平成三年没
- 二十五回忌 平成十一年没
- 十七回忌 平成十九年没
- 十三回忌 平成二十三年没
- 七回忌 平成二十九年没
- 三回忌 令和三年没
- 一周忌 令和四年没

令和5年度護持費の志納よろしくお祈いします

祐善寺を永代に亙って護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおりご志納下さいますようお願いいたします。

◇護持費の使途

- ・報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・本山相続講、福井教区賦課金等
- ・その他

◇年額

一戸 一〇、〇〇〇円(以上)

◇志納方法

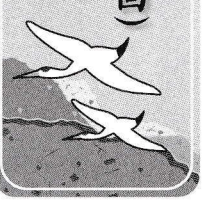
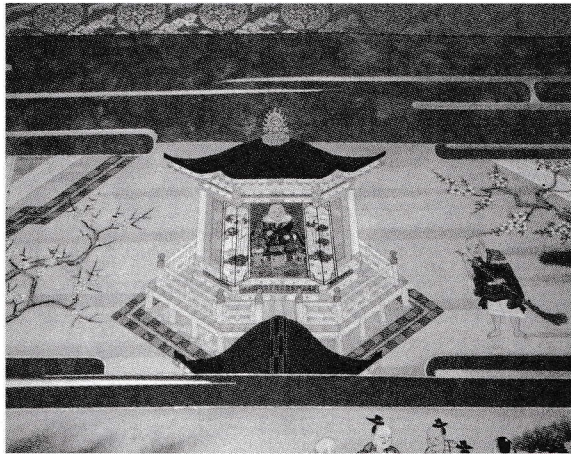
- ・寺へ直接志納する
- ・秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・地区の役員さんに志納する
- ・郵便振替口座
(〇〇七七〇—九一三〇七二—)
- ・加入者＝祐善寺

◇志納期限

毎年十一月末日

へ振り込む

第二十回
親鸞聖人御絵伝(最終回)
びょうどうそうりつ
廟堂創立

親鸞聖人がお亡くなりになって十年後の文永九(一二七二)年の冬の頃、東山の西麓、鳥部野の北、大谷にあった墓地を、少し西によった吉水の北辺に移してお堂を建て、親鸞聖人の御眞影が安置されました。右の図に、その様子が描かれています。本願寺の原点ともいえる御堂です。

廟堂の右に紅梅、左に白梅が描かれており、春先だということがわかります。紅梅と廟堂の間で箒を手に庭を掃く人が見えますが、この人は本願寺第二代の如信上人とも、『御伝

鈔』を書かれた第三代の覚如上人ともいわれています。また、『御絵伝』の絵を描いた浄賀法眼であるとも伝えられています。

親鸞聖人が説かれた本願念仏の教えは、聖人没後、さらに盛んになり全国に広まっていきました。廟堂への参拝者も増え、境内には多くの門徒でにぎわいました。

廟堂建立五年後の建治三(一二七七)年、聖人の墓を末代まで全うせんがために、覚信尼公は自らの所有地を寄進なされ、自らこの廟堂の維持役として初代の留守職に就任されたのです。

「親鸞聖人御絵伝」

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く讃えんがために、親鸞の曾孫に当たる本願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟西仏房の孫、浄賀法眼に描かれています。

詞の部分「御伝鈔」、絵の部分「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が拝読されます。(参考文献『親鸞聖人御絵伝』)

其の47
事 仏
一口メモ
ちようもん
とり急ぎの弔問

弔問・会葬の心得についてお話しします。

まず危篤の知らせを受けたときは、すぐに駆けつけるようにします。危篤を知られるということは、最後に一目でも会わせてあげたいという家族の願いです。一刻も早く駆けつける努力が大切です。

服装は平服でかまいません。もし、遠方の場合、万一のことを考え、喪服の準備も必要でしょう。ただし、家族の気持ちを考慮して、気づかないように配慮します。

次に、訃報を受けて弔問するとき、亡くなった人が近親者や親戚、友人や知人、会社関係者で対応が異なります。

近親者や親戚の場合は、すぐに駆けつけ、お悔やみを述べ、そして、世話役や家の中の整理、接待等の手伝いをするつもりで出かけます。服装は平服でかまいませんが、派手な服装はさげます。

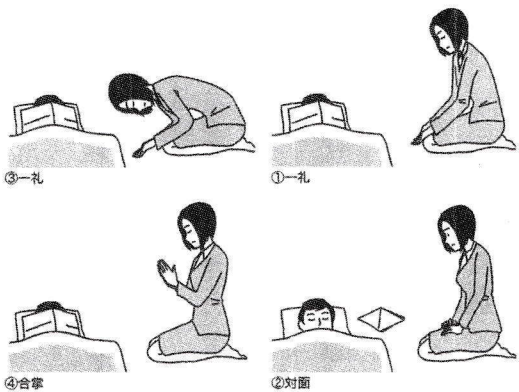
友人・知人の場合も、急ぎ弔問に駆けつけます。服装は平服でかまいません。とくに親密な交際でない場

合は、お悔やみを述べて、改めて通夜、葬儀に参列します。会社関係の場合は、会社の方針があればそれに従うこととなりますが、個人的にお手伝いしたい場合にその旨を伝えておくべきでしょう。

隣近所の場合は、親しく近所づきあいをしてきたときは、すぐに弔問に出かけ、手伝いをします。また、町内会でもりもつ場合は、それに従うようにします。

訃報を受けての取り急ぎの弔問のときは、とくに香典・供物はいりませんが、念珠を忘れずに持参しましょう。焼香の準備が整っている場合には焼香します。

遺族から個人との対面を請われた場合には、その意をくみ、つつしんで対面(イラスト参照)させていただきます。



「仏事ひとくちメモ」(東本願寺真宗会館所収)

お知らせ

報恩講を前に

「全門徒一斉作業奉仕デー」 を実施します!!

ご門徒の皆さんの

ご理解とご協力をお願いします!!

日 時 十月二十二日(日)
午前九時集合

(十一時半頃終了予定)

作業内容

本堂・庫裡にガラス拭き、
拭き掃除等
(主に婦人部のご門徒)
境内・石段に環境整備等
仏具磨きに本堂内の全ての
仏具磨き

持ち物

女性にガラス拭き布、
雑巾(古手拭)等
男性に軍手、古手拭、
スコップ、等

申込み

大変、お手数ではございますが、
ご協力頂けます方は十月二十日
迄までに、祐善寺(〇七七八-
三四一五一七〇)まで、お電話
等頂けますと有り難いです。
寺族、門信徒さんの共有財産である
祐善寺を、みんなの力で護ろう!!
ご協力よろしくお願ひいたします!!

ご案内

報恩講

十一月二日(木)

午後二時〜

法話・南居

陽願寺住職

出雲路善公師

(一席のみのお勤めです)

今年の報恩講も昨年同
様、新型コロナウイルス防
止を考慮して、従来の形式
を変更して右記の通り一席
のみ厳修いたします。
皆様には、何かとご多
用のことは存じますが、
ご家族お誘いあわせの上、
ご参詣下さいますよう、ご
案内申し上げます。

ボランティア募集!!

雪囲い作業奉仕

日 時 十一月四日(土)

八時集合(午前中)

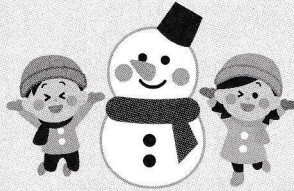
持 物 鎌(カッター)、軍手、
合羽(悪天時)等

J A イベント保険

加入します。

作業内容

本堂、庫裡等の雪囲い作業を
お願いいたします。高所での作業が
苦手な方は、下で雪囲いシー
トのヒモ結び
や資材運び等
の作業もあり
ますので、ご
都合のつく方
は、是非ご協
力をお願いします
ます。
お願い



甚だお手数ながら、ご協力い
ただけます方は、保険に加入
上、十月三十日(月)までに、地区
担当役員、もしくは祐善寺へご
連絡下さいますよう、お願い
いたします。

編集後記

★今年は例年になく暑い日が続き、
二ユースでは毎日この話題が報道さ
れていました。
そんな暑い真つ盛りの時期に、若
院・若坊守の結婚式が本堂にて厳肅
に挙行されました。

二ヶ月が経ち、暑かった夏も「結婚
式は暑かったのぉ」と話している今
日この頃、今の季節を感じて話して
います。
季節が変わるように、その時々之感
動や思いはいつまでも同じでありま
せんが、初心を思い出し活き活きと
した暮らしをしたいものです。

★さて、縁とは不思議なもので、今ま
でも何も気づかないのに突然発生した
ように思えますが、それは今までの
いろんなことの積み重ねがちょうど
その時に揃い、現れたと思います。
例えば草花に、地表には何も見えて
いなくても九月のその時になれば花
を咲かせる彼岸花のようなもので
す。(祐善寺だよりなので彼岸花にし
ました)

日々の暮らしのなかで、沢山ある良
い縁に気づき、花を手取ることで
できたらいいですね。

★お寺の最も大きな仏事である報恩講
に皆さん、ご参詣ください。その前
の「全門徒一斉作業奉仕デー」にも
ご都合がつかましたら、是非ご協力
をお願いします。

(上野養治)